号外 川口日中版　URL:http://www5.ocn.ne.jp/~k-jcfa

日中かわぐち

No.33
2005年6月10日 発行

日中友好のしんぶん
日本と中国

昭和42年2月6日 第三種郵便物認可
発行所 川口市日本中国友好協会
川口市上青木西1－20－3
TEL 048－253－2177

難を超えて交流を

川口市日本中国友好協会
理事長　栗原　喜一郎

一昨年、川口市日本中国友好協会は結成三〇周年を迎え、昨年は中華人民共和国建国三〇周年を記念して“川口市日本中国友好親善訪問団”を結成、訪問し、中国との友好親善を深めました。

本年度は定期総会で決定された活動計画に基づいて、活発に展開していきたいと存じております。

従来からの中国語教室、たたら祭りへの協賛参加等の一〇項目の活動を継続・発展するとともに、新たに中国映画鑑賞会、小学校児童の作品の交流を実現したいと計画を進めています。

すでに、中国語教室は、入門Aクラス八名、入門Bクラス十八名で四月にスタート致しました。

七月には中国映画鑑賞会の開催、親子教室の大使館訪問の実施、たたら祭りへの参加準備を進めます。

会員の皆様のご理解、ご協力ご支援をお願いいたします。

ところで、最近日中間は政冷が進んでいることが気になります。“政冷経熱”といわれていますが、政冷が進んでも経済は熱い関係が維持・進行できるのだろうかと考えます。国家体制、国民性の違いがあるからです。

たたら祭り

〇三年度川口市日本中国友好協会総会で許金平参事官は、国民性の違いについて講義され、〇四年度総会で毛娅平参事官（武大使婦人）はこの国民性の違いを乗り越えるには、民間人の交流を進めることが大切だと説かれたことを思い出します。

知ることによって愛が生まれ、愛することによって知ることができるのでしょう。

講演「通化事件と日中友好」

川口市日本中国友好協会
副会長　坂本　隆太郎

二月十一日、川口市文化センターリリアにて来賓、招待者、会員八〇名が集い、盛大に開催されました。活動・決算報告の承認、規約改正、役員改選、活動計画、予算等が審議・議決されました。

通化事件講演会

第二部は「通化事件と日中友好運動」と題する坂本竜太郎副会長の講演、その後懇親会が開催され、親善を深めました。

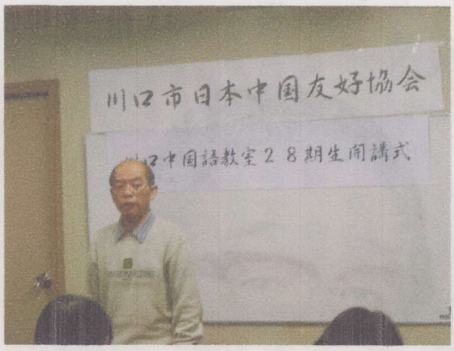
第二八期中国語教室開講

教室代表　本多路子

第二八期中国語教室が四月一日金曜日より入門Bクラスが午後六時半より栄町公民館で開講しました。講師は北京出身の丁菁先生です。

現在二十二名が中国語を勉強しています。

新入生のお手伝いをする入門Bクラスの幹事は初級Aクラスの永井輝彦さん一年間よろしくお願いします



入門Aクラス開講式

教室代表　本多路子

第二八期入門Aクラスは四月七日（木）午前十時より協会事務所教室で開講されました。

理事長挨拶、教室代表の挨拶

講師挨拶に続き先輩の励ましの言葉と続きました。講師は左　楠先生です。

今年一年間のクラス幹事は高島（上級C）、榎本（上級C）が教室とクラス協会とクラスの連絡係としてお世話いたします。

8月6～7日
たたら祭り
今年もがんばろう！

今年度日中かわぐち発行は
編集委員
理事長　栗原喜一郎
理　事　市原光吉
事務局　前田稔夫
　　内野繁子
教室代表　本多路子
入力・印刷
川口市日中電脳塾が担当いたします。発行予定は年間四回の予定です。
教室・協会関連ニュースは編集委員までお知らせください

中国語教室

川口中国語教室 第二十七期生修了式

三月二十五日に入門Bクラスが栄町公民館で一時間の授業のあと、王梅老師より一人ひとり修了証を授与され、

理事長のお話

昨年四月に二十一名で始められたクラスは編入者を含め二十二名の受講生が修了式を迎えました。うち十二名が初級Bクラスに進級しました。

一年間新入生のお手伝いをしていただいたクラス幹事（上級A）内野繁子（初級B）長沢淳子さんご苦労さん。

王梅老師より終了証を

修了記念撮影入門B

三月三十一日に入門Aクラスは九名で学習を始め修了迄到達した人は、五名、王梅老師より終了証を授与されました。皆さん四月には、初級Aクラスに進級しました。

本多代表のお話

修了証授与入門A

修了証を持って入門A

第一回中国映画鑑賞会のお知らせ

第一回中国映画鑑賞会を2005年7月3日、日曜日、彩の国ビジュアルプラザ4階映像ホールにて開催致します。開場午後一時終演午後三時三〇分を予定しております。

中国大使館友好交流部のご好意により、「秦傭」（西安兵馬傭の紹介ビデオ三十分）と「トリートメント」（アメリカに住む中国人の法律の違い生活習慣の違いの中で家庭を思う物語です。）の無料鑑賞会を開催します。受講生、協会会員には、整理券を配布いたしますので、ぜひご鑑賞を。

担当：副事務局長　内野繁子

川口市日本中国友好協会新役員

2005年1月1日～2007年12月31日

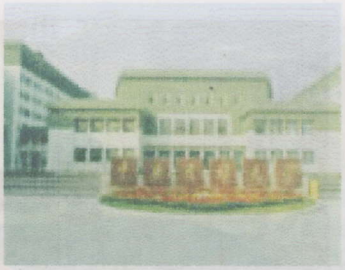
名誉会長	永瀬洋治		
会長	岡村幸四郎		
副会長	坂本隆太郎	新関安生	松本安弘
	榎本百合子	野口利男	児玉洋介
	五十嵐春治	須崎耕二	
理事長	栗原喜一郎		
副理事長	岸　実	石塚　栄	酒井雄一
事務局長	前田稔夫		
副事務局長	本多路子	内野繁子	

理事	浅倉恵美子	市原光吉	磯辺孝司
	井上不二子	石井隆太	飯塚　蘭
	榎本ときえ	佐藤久夫	正田洋一
	大山袈裟俊	鈴木英子	田中君子
	波多野　篤	互　章	田上昭二
	木村一男	永井輝彦	平山安次
	柳沢智房	増田依子	篠山泰一
会計	白井允雄		
会計監査	平石正治	菅原　昭	

留学雑感…パート一

モンゴル族は日本人が好き

昨年九月から本年一月まで、北京の「中央民族大学」へ語学研修へ行ってきました。



当年六十五歳、若い人達に混ざっての勉強は楽しくもあり、また記憶力の減退による苦しい面もありました。各国からの留学生は約１２０名で、日本人は二十名でした。留学生は一部を除いて、留学生寮で二人一組の部屋で起居しています。同一国人が一緒に入室することはありません。部屋の大きさは、ビジネスホテル程度で、机、スタンド等が準備されています。

民族大学は五十年余の歴史があり、学生数は、約６００名程度で、三割が漢族、残り七割が蒙古族、朝鮮族、回族等の少数民族です。

ご存知のように、中国は漢族の他に、五十五の少数民族があり、当然、国語として、どの民族も義務教育として普通話を勉強しています。固有の言語を有する少数民族は自らの言語も学校で勉強しています。

民族大学は文科系の学部が多く、このため、女性が七割を占めており、学内は若く、華やかな雰囲気で包まれています。

でも、学内では民族色豊かな服装は見られず、男女ともにジーンズが多く日本の大学生と変わりがありません。ただ、日本と違って、女学生に化粧や口紅は見られません。でも活発で、若さ溢れる美しさが有りました。

また、中国の学生は、よく勉強しています。学内には、公園のような並木道があり、諸所のベンチで外国語の勉強をしている学生、油絵を描いている画学生、夜遅くまで教室で勉強している人等、北京市内の喧騒とは違う「学園」が有りました。

次号へ

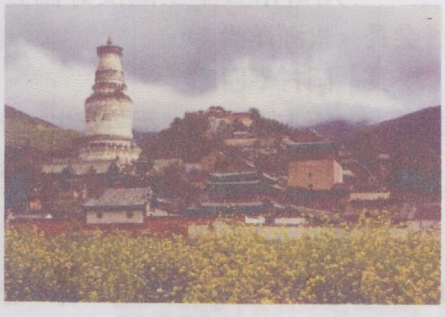
山西省は、黄河中流の黄土高原に位置する内陸省で、総面積が 156,266k㎡で、人口が 32,937,077 人です。

「人説山西好風光，地肥水美，五穀香。（山西は、景色が綺麗で、土地が豊かで、水が美しく、五穀の香に満ちる）」という故郷を謳う歌があります。それを聞くたびに、いつもわたしの目の前に美しい故郷が浮かんできます。

山西は、小麦粉で作った食品が数多くあって、全国、いや世界にも知られています。特に「刀削面(ドウショウメン)」を食べるのなら、本場の山西でなければならないでしょう。

また、古代から山西に都を定めた十九の王朝政権があり、中国における古代文明の発祥地のひとつでもあります。

なお、自然は、北方地区の特有な雄壮さと質朴さを持っておりますが、名所古跡は、五台山、雲崗石窟を代表とする仏教の名山と寺院、平遥の古城、喬家の「北京四合院」のような民家住宅等等、古来より、山西省の至るところに根差しています。



五台山

喬　家